



撮影/三才町 石川 誠さん

## 水の思い出 ③④

あぶみ がわ  
鑑川

電鉄線の電車が走っていた鑑川の鉄橋も、今は、赤さびた橋梁が、枕木と渡り板を遺して鑑川をまたいでいる。陽春の川面に、鉄橋のまわりの若草の彩りが映え、赤さびを一層無情に際立たせているのは、廃線という世相の無常の風でしょうか。

鑑川近くの鎮守の森兜稲荷神社参りに父に連れられ、鑑川の鉄橋をはいつくばって渡ったのは、4歳のころだったか。遊び盛りの小学生のころは、竹やじりのヨシ矢やキツネノボタンの弓矢、親子笹舟、草笛、ネコヤナギの二又の枝探しと創造豊かに遊んだものです。いくつかの四ツ手網の小屋があり、ヨシが茂り、ネコヤナギは岸辺をおおっていた。豊かな水系の鑑川は、あぜ道の刈り草臭う東田んぼの中を一筋となって、かなた入道雲立つ国見山の方まで続いていた。

鑑川の源は瑞竜町小野の五反田溜で、今は東部幹線排水路として用水の役目はない。八幡太郎義家が馬の鑑を洗ったとされたことから名がついた鑑川の清流は、整備された街中の排水路となって、都市開発の波に勝とうとはしなかった。

鑑川は今、山下町通称「たこ公園」（駅南第二児童公園）の脇、親水性の公園として、岸には遊歩道もでき、桜のころはみごとな景観を創り出している。公園南側の橋のたもとや公園の駅南土地区画整理記念碑の鑑川のいわれなど、刻まれた「鑑川」に、山紫水明の情感と、懐かしさの余韻を覚えてならない。

石川 誠（三才町）



# 時を超えて人に想いを伝える —常陸太田の彫像—

自然の中に建つ彫像は、ランドマーク（目印・目標）として格好の造形物である。像の建てられた意義を人々が意識するまで、物語をおしつけることもなく静かに待っている。像の物語に初めてふれたとき、暮らしに同化した像の風景はその色合いまで違って見えてくる。人の形をしたものに人はその想いを託しやすく、人々の暮らしの中にじっとたたずむ彫像は無言のうちに託された物語を後世の人に示してくれる。  
市内にある「像」をご紹介します。

## 偉人に会おう



義公木像

(太田小学校所蔵・梅津会館展示中)

太田小学校所蔵の黄門像、木像校舎のころの火災の時に、火事に気づいた近所のかたがこの像を背負って運び出してくださったそうです。貴重な木造は現在梅津会館に展示中です。



豊田天功像

(賀美小学校)

豊田天功は江戸時代後期の水戸学者、天功の子・小太郎の妻・芙雄子は日本の保母さん第一号です。(詳しくは広報ひたちおた平成17年12月号参照)



豊田芙雄子像

(水戸二高)



梅津翁胸像

(梅津会館)



梅津翁胸像(木像)

(梅津会館)

梅津会館前にある梅津福次郎氏像(写真左)、実は2体あるのをご存じでしょうか？2階展示室にある木像は(写真右)ブロンズ像の型となった木像です。



佐藤進胸像

(進徳幼稚園)

## 先生の作品



かえりみの塔 (幸久小学校)



機初の乙女 (はたはじめのおとめ)

(機初小学校)



あるかたち

(西小沢小学校)

とみおかすてお  
富岡捨夫さん

西小沢小学校の玄関前に数点の彫塑が展示されています。これらは富岡さんの作品。教師時代の研修で学んで以来、彫塑を趣味にし、多くの作品を造ってきました。

かとうただよし  
加藤忠義さん

小中学校の教師だった加藤忠義さんの作品は市内外の学校などで多く見ることが出来ます。「どの作品にも思い出がありますが「かえりみの塔」は特に思い出深いものがあります」と加藤さん。屋外展示される像は誰にでも見ることができ、また長く残るものであるため、時代背景・考証などの調査にかなり時間をかけたものだと思います。「万葉の時代、遠く九州に防人として派遣されるということは、今の時代でしたら月よりも遠くに行き、そして二度と帰れぬ旅路だという覚悟があったのではないのでしょうか。その思いを表情に出せるように」苦心されたそうです。



# アートを探そう



長崎平和祈念像 (グランドスラムカントリー倶楽部)



将軍の孫  
(グランドスラムカントリー倶楽部)

きたむらせいぼう  
北村西望

文化勲章受章・文化功労者。もっとも有名な作品は長崎平和祈念像、それと同じものが常陸太田にあります。グランドスラムカントリー倶楽部は同氏の像を数多く飾っており、その中に長崎平和祈念像もあるのです。



天女 (梅津会館)

きのうち よし  
木内 克

茨城県生まれ、紺綬褒章受賞。東海村にある第9回茨城国体モニュメント「女神像」制作。



チャドルを纏う (常陸太田市役所)

こもりくにお  
小森邦夫

日本芸術院会員、1993年没。



飛翔 (太田二高)

のうじませいじ  
能島征二

茨城大学出身。昨年日本芸術院会員に就任。「飛翔」は太田二高70周年の記念に建てられたものです。

## フォンスネットワークが会えた彫像 ※像を見に行くときには、施設等の管理者に声をかけて下さい。

タイトル	作者	設置場所	タイトル	作者	設置場所
朱瞬水の碑(レリーフ部分)	小森 邦夫	桃源不老池そば	武藤常介翁像	茨城県木村協同組合連合会地蔵団休	西山公園
閑寂	小森 邦夫	パーティ応接室	春望	征矢 真一	春友彫刻の森
道を行く	能島 征二	パーティ応接室	立女	中村 義孝	春友彫刻の森
平和の女神	北村 西望	グランドスラムCC	くつろぐ太陽	六崎 敏光	春友彫刻の森
世界連邦平和像	北村 西望	グランドスラムCC	潯標	野口 長夫	春友彫刻の森
曙	山崎 猛	JR常陸太田駅前	葯	岩沢 勇	春友彫刻の森
伸びる	山崎 猛	太田一高	青春	篠原東太郎	春友彫刻の森
文月の女	山崎 猛	旧ときわ路屋内(現在閉鎖中)	大地	篠原みどり	春友彫刻の森
渚	山崎 猛	梅津会館	Dancer	染谷 佳司	春友彫刻の森
はらから	山崎 猛	市役所ロビー	あこがれの齢	菊池由美子	春友彫刻の森
躍進	加藤 忠義	山吹運動公園	美春	大越 二郎	春友彫刻の森
はばたく	加藤 忠義	太田小学校	淡紅	太田ひろ子	春友彫刻の森
こだま	加藤 忠義	佐都小学校	曙	石崎 正子	春友彫刻の森
明日に向かう	加藤 忠義	太田中学校	時子	仙波たまき	春友彫刻の森
大きなあれ	加藤 忠義	佐竹小学校	友花里のさとこ	森山 良民	春友彫刻の森
まごころ	加藤 忠義	大久保小学校	少女	鈴木しのぶ	春友彫刻の森
面の構成	富岡 捨夫	西小沢小学校	MAN	神長 智恵	春友彫刻の森
いこいⅡ	富岡 捨夫	西小沢小学校	夏の日の午後	村山 悦子	春友彫刻の森
いこいⅠ	富岡 捨夫	西小沢小学校	ピエロタの少女	吉田 里絵	春友彫刻の森
座像	富岡 捨夫	西小沢小学校	思い出	小田部 実	春友彫刻の森
岡部辰雄氏像	岡部長雄氏顕彰会	西小沢幼稚園前	めざめ	谷津喜美代	春友彫刻の森



## 愛の人 佐藤 進氏の胸像

進徳幼稚園の正面玄関にある胸像のことをご存じですか？医学博士 佐藤進男爵の胸像です。氏は1845年に久慈郡太田村の高和家の長男として生まれました。14歳で医者になることを志して、千葉県佐倉の佐藤家で勉学に励み、1866年望まれて佐藤家の養子となりました。その後、日本人で始めてベルリン大学の学位を授かり順天堂医院を設立、医師・医学者として活躍、指導者として野口英世を指導したり、日清・日露戦争時には敵味方の区別なく治療を行ったと伝えられています。

没後15年（1935年）初代の胸像が久保田吉太郎作で建てられました。初代の胸像は軍服の正装でしたが、それも時代をうつしたものであったのか、それとも軍医総監としての功績を称えたものであったのかは解りません。その後、太平洋戦争末期には銅鉄特別回収により梅津翁の胸像と共に供出されました。当時の太田町長武藤常介氏は最後まで供出からまぬがれようとしたようですが、時代のうねりに抵抗することが困難であったことは想像できます。終戦後長い間、胸像は無く台座だけが残されていました。

やがて太田町内に胸像再建の気運が高まり、昭和28年に森山朝光の製作により元の位置に建立されました。

再建された胸像はフロックコートを着用してい

ます。まだ、戦争の記憶が生々しく残る時代に初代の胸像と同じく軍服を着用した胸像を再建することは考えられなかったと想像します。戦前の胸像が写っている集合写真で戦後に軍服の部分だけを塗りつぶした写真もあったそうですが、像の姿や形は後世の人がその思いを表現したものだと思います。医学博士 佐藤進男爵の郷土を愛する気持ちと教育に対する思い、胸像の建立・再建に関わった当時の関係者の思いが込められた胸像は今も園児たちをやさしく見守っていると思います。

今回の取材にあたり進徳幼稚園にお邪魔して園長先生にお話を伺いました。園長先生のお話や園児達が帰った後の職員室での先生たちのミーティングからは佐藤進先生の教育への思いが間違いなく後世に伝わっていることを感じました。（五十嵐）

取材協力・資料提供：常陸太田市立進徳幼稚園

参考資料：外科医 佐藤 進

（常陸太田市発行、森田美比著）



初代の胸像



再建された胸像と園児達（昭和29年撮影）



## 「春友彫刻の森」と山崎猛さん

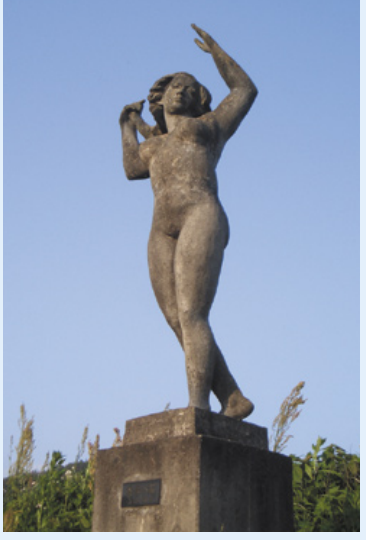
多くの彫像が緑豊かな中に点在する「春友彫刻の森」は故・山崎猛茨城大学名誉教授が指導していた茨城大学蠟型ブロンズ研究会会員の卒業作品2点が、氏と親交のあった地域の人たちと市の協力によって建てられたのがその始まりです。その後、茨城大学生の作品や彫刻家・六崎敏光氏の作品など多くの像が彫刻の森と棚倉街道沿いに建てられ、現在も20点余見ることができます。国道からの入り口を示す地点に建つ氏制作の像は「<sup>あいはる</sup>愛春の道」と名づけられ、この地春友の景観を愛した山崎氏の想いがタイトルとなったものなのでしょう。  
(相原早苗)



つばさ  
(馬場町つばさ公園)



母の愛  
(休養村管理センター)



<sup>あいはる</sup>愛春の道 (春友彫刻の森)

やまざき たけし  
山崎 猛

茨城大学名誉教授 美術団体『一陽会』常任委員歴任。  
常陸太田駅前には、ロダン大賞展で優秀賞を受賞した作品「女の箱舟・曙」がある。

## キャンドルナイトに豪快な号外をまく!

「キャンドルナイト」とは2007年の夏至の日、6月22～24日夜8時から10時までみんなでいっせいに電気を消してろうそくの灯りで過ごし、地球温暖化や環境を考えるきっかけにしようという呼びかけです。2003年から始まり、昨年はコンビニなどを初めとした40000弱の施設でライトダウンが行われました。今年も日本各地でさまざまなイベントが企画されていますが、その中のひとつ「TEAM GO GO!2007」に参加している鈴木克宜さんは小菅町出身です。

鈴木さんが取り組んでいるのは「6月22日夏至、日本全国に豪快な号外をまく!プロジェクト」。このプロジェクトは、TEAM GO GO!2007という団体が募金や号外を配るボランティアを募り、「温暖化や地球環境の現状」「漫画でわかる地球の現状」「子供達のために今出来ること」を号外にして6月22日に全国一斉にまくというものです。鈴木さんは、この活動に賛同し茨城県支部リーダーをしています。

「日本全国4900万世帯に豪快な号外をまく」プロジェクト茨城県担当の鈴木です。現時点では、3000万部を印刷することが決まりました。これからは、号外を配るスタッフを募っていきます。この企画の成功をめざして、多くの仲間が手伝ってアイデアを出してくれています。ぜひ興味を持っていただけた方は、一緒に動いてくれるとうれしいです。お気軽にご連絡ください。自分のできることを、少しずつやっていきましょう。



鈴木克宜さん

募集内容:6月22日に自分の住んでいる地域に号外を配るボランティア  
問い合わせ:<http://www.teamgogo.net/>→虹の天使支部リーダー→茨城県→鈴木克宜

一人ひとりが限りある資源について考え行動することが大切だと思いました。(相原早苗)



## 劇工房橋の会公演「裁きの庭」

今年も、橋の会の公演が間近になってきました。今年には1950年代ヘンリーフォンド主演で映画化された「12人の怒れる男たち」を木村夫伎子さん潤色・演出で公演します。本番間近になった稽古日にお話を伺ってきました。

「日本人は和を大事にしてきた国民。それ自体はいいのですが、和を尊ぶあまり自分の意見を飲み込んでしまうことが多い。疑問に思ったことを自分の意見として伝えることが裁判員制度においてはとても大事なこと」と平成21年に始まる裁判員制度を踏まえ、その時にもっとも伝えたい事をテーマにしている橋の会ならではの演目です。

「自分で考え、それを自分の言葉で伝え、その言葉に責任を持つ、とても大事なことです。簡単ではありません」「さらに大事なことは自分と違う意見に耳を傾けること。ただ音として聞くのではなく、一度自分の心の中に入れ自分に置き換えて考えるという聞き方が大切です」「いろんな人の意見に耳を傾け、その意見によって自分の考えに疑問を感じたら、勇気を持ってそれを伝えることは民主主義の基本となることだと思います」と木村さんは話してくれました。

自分の考えを誰かに伝え、そして誰かがその考えを受け止め、そしてまたその考えを返してくれる…。人と人の心が交わる喜びを、今回の橋の会の舞台で感じ取って来たいと思いました。  
(五十嵐)



	6月29日(金)	6月30日(土)	7月1日(日)
開演(開場)		13:00(12:30) <b>完売</b>	13:00(12:30)
開演(開場)	18:00(17:30)	18:00(17:30)	

★場 所：生涯学習センター ふれあいホール

★入場料：大人 1,000円(当日 1,200円) 学生 600円(当日 800円)

★問合せ：橋の会・木村 72-0298

## 思い出の場所 ①

～人生の分岐点、かも～

道は、いろいろな分岐点があります。特別に何も無い分岐点に、こどもの頃から1ヶ所だけ気になっているところがありました。

そこは、うっそうとした林の中、車のすれ違いもやっとの狭い山道を抜けて目の前にパッと視界が開ける、十字路の分岐点になっているところです。その道は、日立から常陸太田の父の実家へ行くのに通る道で、そこを常陸太田方面、左に曲がっていくのです。

母が運転する車内で、「ここ(の十字路)真っ直ぐ行ったら何があるのかなあ。」「どんな人が住んでるのかなあ。」と思っ想像して愉しんでいましたが、父の実家が近づき、着いたら行儀よくしなければならぬと緊張してくる所でもありました。

そこは、結婚してからあらたに緊張する場所になりました。なぜなら、知り合いの紹介で結婚した相手は、その十字路を真っ直ぐ行ったら先に住んでいたからです。



ずっと気になっていたのは、こういう結末に出会うことを予想していたからなのでしょうか…？  
(鈴木 久美子)

## ウィークエンドシネマランド

上映作品 「カーズ」 7月21日(土) 13:30～



★日本語吹替：2時間2分

★上映会場：生涯学習センター ふれあいホール

★ご覧になりたい方は生涯学習センターで整理券をお受け取り下さい

★整理券配布：6月12日(火)から

★問い合わせ先：常陸太田市生涯学習センター  
事業係 (72)8888



## 『大豆を播こう!』

6月は大豆の種まきの季節。我が家も毎年10a(300坪)程の畑に自家用とオーナー制で消費者に配るために作っている。日本人の食卓に上る大豆製品はとても多い。醤油・みそ・豆腐・納豆…一体どれ位の量の大豆を消費していることだろう。もしあなたの家で週に4丁の豆腐を食べているとすると、豆腐1丁に使う大豆は約150g。年間にして約30キロの大豆を消費している。これを畑で作るとすると、我が農園の収量で約1.7a(50坪)の畑が必要。でも日本でこんなに消費をまかなえるほど

大豆は生産されていないのが現状。2005年度で大豆の自給率は5%。ほとんどはアメリカやカナダから輸入している。

日本の農業者に、もっと大豆生産がんばれと言いたいのに、大豆作付けに関する国の補助金は一部の大農家に限定され、国内の大豆生産は滞っている。

堅い話は抜きにしても、自分や身近で作った大豆で、味噌や納豆を作り、食べる美味しさは本物。高たんぱく質で、栄養価の高い大豆を私たちの手で作ろう。生産者になれなくても、地域のオーナー制に参加したりする方法もあります。今回は何だか演説家になってしまった母ちゃんでした。

(木の里農園 布施 美木)



## 子育て奮闘記

## 踊るママパラダイス 34

思春期。広辞苑によれば二次性徴期。体の発達段階のことです。心も発達します。その一つに反抗期があるわけです。当たり前のことです。私にもありました。周りの人をついつい批判的に見てしまう。友達の馬鹿騒ぎにうんざりしながら、こむづかしいことをグルグルと考えてしまう。親への反抗も似た様な気がします。でも、私の両親はわりと難しい人達だったので、あからさまに反抗すると、とんでもない事態が待っていたため部屋に入って会わないようにしていました。人生のうちで最も学業を怠った時期でもありました。両親は他界していますので、その時のことを聞くことはできません。私をどう扱っていたのが確かめる術がありません。スマレが中学校に上がってからの2年間、何度両親の遺影の前で「何で死んじゃったの?」と言ったことが……。

スマレは自我が発達する幼児期に反抗期らしい反抗がなかったように思えます。もっとも、私がやかましすぎて口答えができなかったようにも思えますが、そのツケが、回ってきた2年間でした。自分以外の者に対して批判ばかり。乱暴な口のきき方は耳をふさぎたくなる。小学校でそこそこだった成績はがた落ち。「私はここまでひどくなかった。(ように思う……)」親が聞いたら笑っただろうと思います。私も振り回されて、怒って泣いて疲れました。思春期、上等。絶対顔色なんか見てやらない。

でもね、赤ん坊の時、よく泣いたスマレが泣かなくなった、と思ったとき、楽になりました。赤ちゃんは、嫌と言えないから、泣く。思春期の子どもは、嫌と言えるから言うのかな、かわいいかも。嫌と言える事ができるのは、環境としてはいいのではないかと考えました。そうでなければ、発達途上の体の中で爆発するかもしれない。

まだまだ、下の子がいます。ユースケの反抗ってどんなかな、ユキノは、生まれたときから反抗期みたいだし、それぞれ違う思春期を親子で過ごすことでしよう。

— わいわいネット 織田 裕子 —

3者面談をスマレと待つ





そう多くは絵本を読まなかった。いつも外で遊ぶのに忙しかったから。しかし、それでも少数の印象に残る素晴らしい絵本に出会えたのは幸いだった。どうも模範的な、夢見るだけのあたりさわりのない絵本は好きではなかったし、記憶に残っているのは、どこか哀しみを含んだ、その時の自分の理解を超えた作品が多い。理解を超えていたからこそ想像する愉しさが味わえたのだろうか。中でも「多毛留」(たける)は大人になった今でも心の深い奥底にヒリヒリとした印象を残している。小学校低学年のある日、自習かなにかだっただろうか、仕方なく図書室に行つてぶらぶらしていたら、隠れるように本棚にあった「多毛留」に出会った。ページを開いたとたん、あたりを見回した。幼心に、これは大人の世界のことが書いてあると思ったからだ。絵が繊細で美しく、謎めいていて、エロテ



ックだった。男と女、父と息子、日本人と朝鮮半島の人々、母と子、出会いと別れ…。その物語は何度読んでも泣きつかせないほど、人間の生きる世界の現実についてささやき、黙り込むほどの迫力を持って内奥に迫ってくる。胸を詰まらせながら何度も繰り返し読んだのを、その時の幼い心拍とともに今でも思い出す。(次回は 大里町 佐藤 紀子さん) 拙書「わたしのひみつの旅」岡部 愛(文・絵)が技報堂出版(株)より出版されました(※自費出版ではありません)。胎内記憶と生命の決断の旅をテーマにした絵本です。また、6月27日、子育て支援センターでこの本のことなどをお話します。どうぞお出かけください。お問合せは 子育て支援センター(72-8415)までお願いします。(岡部 愛)

ほつ  
とひといき  
レンゲソウ(マメ科)



かつては、子どもたちの野の遊びとして身近なものだった。童謡で「ひーらいた、ひーらいた何の花がひーらいた れんげの花がひーらいた」のれんげはハスの別名。レンゲソウの名の由来は花のつくようすが蓮華(ハスの花)に似ていることによる。

中国原産で江戸時代に書かれた「大和本草」に、緑肥に供するため水田の裏作として飼料や利尿剤にしたとある。

市内久米町の空地にみごとに咲いていたので写真に収めた。(4/26)かつてはどこにもたくさん見られたが、今では珍しい植物となってしまった。

レンゲソウの名は方言として、レンゲ、ゲンゲ、アズキバナ、ミコシバナ、サンゴバナ、テンマリソウなどの名がある。子どもたちがつけた名らしい。若芽や花をゆでたりして食用とする。また、花の蜜はミツバチの蜜源となりハチミツとして食する。(桐原 弘)

ちよつとひといき

『割烹 源氏』

～ミニ懐石膳  
¥1,300～

※プラス150円でデザート・コーヒー付  
もあります

ランチ 火曜日～土曜日  
午前11時30分～午後2時  
(ラストオーダー午後1時30分)  
常陸太田市宮本町  
TEL 0294-72-6008



長い間、源氏さんは夜宴席で何うところかと思っていました。ところがその源氏にランチができたと聞き、好きな味のお店なので期待感たっぷりで行ってきました。

メニューに「ミニ懐石膳」があり、月毎に素材が変わります。

吸い物椀の蓋をあげれば、湯気と共に立ち昇るダシのかおり。彩りがよく、おいしそうで、どれから食べようかと迷ってしまいます。味は、和洋折衷の味が楽しめます。「ミニ懐石膳」、見て愉しみ、味わって愉しめます。

また、もうひとつの私のおすすめは「モツ」。ピリ辛味噌味のモツはお持ち帰りもできるので、二重に満足。(鈴木久美子) モツ定食700円(持ち帰り500円) よくばり膳900円 など

編集  
後記

今回特集した「像」に限らず、フォonzでご紹介できるのは常陸太田市の地域資源のほんの一部でしかありません。「像」に託された人の思いや、レリーフの裏に秘められた物語の多くは掲載できませんでしたが、これを読んでくださった皆さんに表の完成をお願いしたいと思います。フォonz片手に新緑の中にたたくむ像を尋ねてみてはいかがでしょうか。像にこめられた物語の発見は皆さんの宝物になるかも知れません。

～新しい物語の始まり～

久米町の根本医院さんの診察室入り口に立つアンパンマン。「診察室に入る前に少しでも気持ちをやわらげることができたら」と置かれたものだそうです。表にはベンチもあります。一方金井町の根本眼科さんにもアンパンマンとバイキンマンが!先生同士がご兄弟の間からですが、ご一緒にそろえたわけではないそうです。おそろいになったのは、お医者さんゆえ「バイキンをやっつけたい」という思いがこめられているからに違いありません。(塩原慶子)



フォonzのバックナンバーはホームページでご覧になれます。  
常陸太田市 (<http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>) → 「生涯学習センター」 → 「情報誌」です。